

今日の説教のポイント<ルカによる福音書2章1-20節>

福音書記者ルカは、イエス様誕生の記録を大きく、1～8節、9～14節、15～20節の三つに記し分けて何かを伝えようとしているかのようです。各部分で伝えようとしていることは何かを追いながら見て行くと、

①「宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。」(7)

生まれたときの神の子イエス・キリストを取り巻く「この世での状況」を記そうとしているかの1～8節です。それは、1)神の子だというのに、お世辞にも裕福だとは言えないヨセフとマリアの二人、2)この世の支配者に追い立てられるような旅の途中、3)泊まる宿部屋さえ確保できないし、誰からも助けてももらえず、家畜小屋の飼い葉おけの中で生まれるほかなかった、ということです。ところが、次の部分を読むと、

②「主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。」(9)

神の子を取り巻く目に見えるこの世的な状況とは裏腹に、この子を取り囲んでいる「目には見えないもう一つの状況」、すなわち、神の祝福と守りが注がれていることを伝えようとしているかのような9～14節です。「天使、主の栄光、天の大群」等でそれを感じさせられます。

それを経て、次の第3番目の部分では、

③「急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。」

目に見えるこの世の状況が①のようであっても、目に見えない神の支配の状況②を信じた者たち(羊飼いたち)の行動が、そこ①にも浸透し始めている様子を感じさせられます。起こりつつある、新しいこの世の状態です。神様の御告げを聞いて、それを信じて実行する羊飼いが重要な位置を占めています。もう一度、整理しておきます、

①目に見える世界、厳しい状況 → ②目に見えない世界、神の御手の中にある状況 → ③目に見える世界ではなく、真実な神様が支配し給う目に見えない世界を信じて生きようとする者たちの状況。

私たちの誰の前に待っている状況も、真実な神の支配して下さっている状況なのです。そのことを思いながら生きて行きましょう！